



学校だより

白樺の学舎

松本市立波田中学校 令和4年9月22日 NO.6

令和四年度
学校教育目標
「やかたづくり」
やさしさ
かしこさ
たくましさ

2学期が始まって1ヶ月

～夏から秋への季節の移ろいを感じながら～

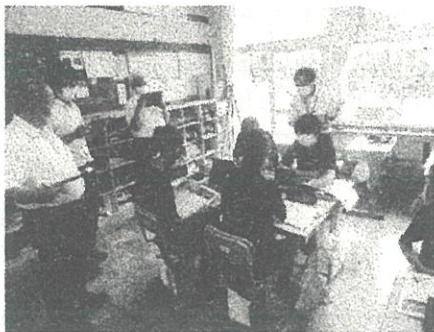


9月1日(木)3時間目、今年度2回目の避難訓練がありました。地震を想定し、授業会場から教科担任の先生の引率で体育館に避難しました。地震発生時に身の安全確保はどうすればよいかについて、低い姿勢で頭部を手でカバーするなど机のない場所で可能な対策を即座に考え、行動に移すことの重要性を実感した生徒もいたようです。また、この日の給食は「防災の日献立」でした。災害時等に食べる非常食の喫食体験になりました。

○出された時は本当に非常時になったときに食べられるのか不安になったけど、実際に食べてみると思ったよりおいしくて、全部食べることができました。(1年)

○まず、食べられる期限が3年ももつということに驚きました。味は思ったよりもきちんとしていてしっかりとカレーの味がしました。そのまま食べることができて便利だと思いました。(2年)

○救給カレーなどの非常食を食べる機会が今までなかったので、貴重な経験になった。(3年)



『自ら考え続ける生徒 ～「教えられる」から「自ら学ぶ」へ』

ICT機器活用と連動した【学習改善】【授業改善】の取組

一人一台端末が導入されて2年目。生徒の資質能力の育成と教師のスキルアップを目指して授業を通して研修を続けています。教師一人ひとりが自己課題を設定し、お互いの授業を見合いながら学び合い、自らの実践につなげる努力を継続しています。生徒自らが課題を持ち、仲間と関わりながら対話的に学び、課題解決を連続的に図る深い学びが達成できるよう、私たちも「自ら学ぶ教師」であり続けたいと思います。

☆ニュースタイル『町キレ・あいさつ運動』

コロナ感染予防を図りながら「町キレ」をどう展開するかは、生徒会の大きな課題でした。いわゆる「揚げパン方式」などを試行しながら「町キレ」の一層の充実を図るためにどうしたらよいかを検討した結果、全員に「トング」が準備されました。先日の「町キレ」では早速トングを活用し、ゴミを拾っていました。参加率も向上しました。自転車通学の生徒は安全優先でトング使用は推奨していません。また、トングによるケガ(自分だけでなく行き会う地域の皆さんにケガをさせることのないように)がおきないように、使用にあたっては、常に注意を払って「地域の美化」を推進していきたいと思っています。10月以降の「町キレ・あいさつ運動」にご理解をお願いします。



あいさつ運動もバージョンアップ。波田中生徒会の伝統を受け継ぐだけでなく、発展させていきたいという生徒の願いが伝わります。

中体連新人大会が幕開け

大会結果（紙面の都合で入賞者のみの紹介です）

- ☆水泳（9/3） 中信地区学年別水泳競技大会 ・荻原康希 男子2年50m自由形 6位 30"15
 ・西原広翔 男子3年100m自由形 1位 59"58 男子3年50m自由形 1位 27"06
- ☆陸上（9/17） 長野県中学校陸上競技新人大会（中南信大会）
 ・高野啓矢 男子2年走幅跳 8位 5m17 ・黒田稀和美 女子2年100m 8位 14"07
 ・永田航大 男子共通3000m 3位 9'27"32 ・藤田歩華 女子1年走高跳 4位 1m20

第52回白樺祭「一致団結 ～ともに挑もう 今を越えて」



いよいよカウントダウンの時期となり、学校のあちらこちらで着々と準備が進んでいます。コロナの感染状況が落ち着きを見せてはいますが、油断することなく、予定通りの2日間となることを願い、一致団結、全校で今を越えて当日の発表につなげましょう。

上：ステージバックづくりに集中する美術部の皆さん。

右：全校生徒の投票によって選出されたポスター

（制作者は左から、寺田紗葉さん、村上心優さん、織田花香さん）



クラス合唱練習にも熱が入ってきています。学年別の中間発表会も行われています。クラスで合唱を創り上げる経験を通して、かけがえのない「何か」を得ることができると思います。一人ひとりにとって、その「何か」は違うかもしれませんが、合唱づくりを通して間違いなくクラスは成長していきます。仲間の歌声、他のクラスから聞こえてくる歌声等から刺激ももらっているのでは…。特に3年生にとっては後輩へのメッセージとなることも自覚しての中学校での最後の合唱ですね。それぞれの思いをクラスのハーモニーにのせて精一杯ステージで表現して欲しいと思います。



じゃがいもの収穫 たくさん獲れました。

今年も6組、7組ではJAの皆さんのご協力をいただきながら、「メイクイーン」「アンデスレッド」等4品種のじゃがいもの栽培に取り組んできました。生育の様子をていねいに観察し、農作業の大変さも実感しながら大切に育ててきました。その努力が実り、先日無事に作業を行い、収穫の喜びを味わいました。実りの秋ですね。

早いもので令和4年度も折返し地点。気づけば、稲刈りもあちこちで進み、ここはそば畑だったのかと一面に咲く白い花を見て驚くこの頃。しばらくすれば「新そば」が味わえますね。10月に入ると学校の空気も新鮮さに包まれるようになります。2年生が生徒会引継ぎ準備に入り、3年生は本格的に進路実現に集中していきます。皆さんの「やかたづくり」も後半戦に突入です。まだまだ「レッツ チャレンジ」は続きます。保護者の皆様、地域の皆様、引き続き、波田中生のがんばりを後押ししていただきたいです。（文責 校長 藤松輝州）